

平成 29 年 9 月 12 日

各位

株式会社北洋銀行

『日本×台湾 学生デザインワークショップ』を 北洋銀行と伊達信用金庫が連携して応援します！ ～公立大学法人札幌市立大学デザイン学部 ACP 研究プロジェクトチームが主催・運営～

北洋銀行は、伊達信用金庫(理事長:館崎 雄二)と連携し、札幌市立大学(理事長・学長:蓮見 孝)デザイン学部が取り組む「『拡張キャンパス型地域連携』による過疎市町村の自律的創生デザイン研究(略称:ACP 研究代表:蓮見 孝氏) ※1」の一環として開催される日本と台湾 5 大学合同の『日本×台湾 学生デザインワークショップ』に協力します。

本ワークショップでは、日本と台湾の学生 50 数名が洞爺湖周辺の地域資源を活かしたツーリズムデザインに取り組み、これまで気づかれなかった観光資源の発見や新たな観光プログラムの提案を研究成果として発表します。

当行は、開催地域に営業区域を持つ伊達信用金庫と連携し、政府が運用するビッグデータである「地域経済分析システム(RESAS)」の分析結果に基づく地域課題の提供を行い、学生の本研究活動に協力します。

また、本ワークショップの研究成果である学生たちの提案・アイデアにつきましても、当行と伊達信用金庫は、壮瞥町はじめ周辺市町や関係機関等と連携を図りながらその実現を目指して参ります。

記

日本×台湾 学生デザインワークショップ(概要)

	内 容
日 程	平成 29 年 9 月 18 日(月)～23 日(土)
行 程	19～20 日 現地調査(グループ別フィールドスタディ) 21～22 日 成果発表準備 23 日 成果報告会 (壮瞥町)
場 所	北海道有珠郡壮瞥町を中心とした洞爺湖周辺地域
参加校	札幌市立大学、明星大学(東京)、 華梵大学、国立台中科技大学、国立雲林科技大学 (以上 台湾)
参加人数	学生 56 名(台湾 26 名、東京 10 名、札幌 20 名) ※2
主催・運営	公立大学法人 札幌市立大学 デザイン学部 ACP 研究プロジェクトチーム
協 力	壮瞥町 壮瞥町商工会 伊達信用金庫 北洋銀行 他

※1 本ACP研究は日本学術振興会 科学研究助成事業 基盤研究(A)として実施されております。

※2 参加人数は変更となる可能性があります。

以 上

JPN×TWN DESIGN WORKSHOP 2017



日本×台湾 学生デザインワークショップ 概要

札幌市立大学デザイン学部では、現在『拡張キャンパス型地域連携』による過疎市町村の自律的創生デザイン研究^{*1}（略称：ACP／研究代表：蓮見 孝）を行っています。本研究は大学の機能と効用を周辺地域に拡張し、地域と大学との連携による地域活性化と教育効果の向上を目的とするものですが、この研究の一環として、日本と台湾の5大学合同のデザインワークショップを北海道有珠郡壮瞥町を中心とした1市3町（洞爺湖周辺地域）で開催します。日本と台湾で共にデザインを学ぶ55名余りの学生が、地域資源を活かした新たなツーリズムのあり方をデザインし提案します。

名 称：日本×台湾 学生デザインワークショップ

日 時：2017年9月18日（月・祝）～23日（土・祝）

場 所：北海道有珠郡壮瞥町を中心とした洞爺湖周辺地域

宿 舎：洞爺サンパレス リゾート&スパ（9月18日～23日5泊6日）

〒049-5731 北海道有珠郡壮瞥町洞爺湖温泉 7-1

参加校：札幌市立大学、明星大学（東京）

華梵大学、国立台中科技大学、国立雲林科技大学（以上 台湾）

参加人数：ワークショップ参加者＝学生56名（下記内訳）

札幌市立大学（20名）、明星大学（10名）、

華梵大学（11名）、国立台中科技大学（10名）、国立雲林科技大学（5名）

他、各校引率教員 若干名（計15名程度）

主催・運営：公立大学法人 札幌市立大学 デザイン学部 ACP研究プロジェクトチーム

^{*1} 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（A）研究課題番号：16H01803 の助成を受けて実施します。

■ 行程

(時間は目安です)

9月18日(祝): 新千歳空港で5大学合流(12:30~13:00)

(台湾3大学: JL5100便 12:30千歳着/明星大学: ANA61便 12:35千歳着)

札幌市立大学芸術の森キャンパス見学の後、壮瞥町へ移動。

壮瞥町宿舎着 18:00頃/交流会 19:00~(柴田屋)

9月19日(火): グループ別フィールドスタディ(プログラム体験)

9月20日(水): グループ別フィールドスタディ(プログラム体験)

9月21日(木): グループディスカッション、追加調査、提案計画(会場: 壮瞥町保健センター)

9月22日(金): 発表準備(グループワーク)(会場: 壮瞥町保健センター)

9月23日(祝): 成果報告会 10:00~12:00(公開)

会場: そうべつ道の駅 情報館 i の2階研修室および旧滝之上キャンプ場跡地

そうべつ果物村で果物狩り体験後、札幌へ移動(夕方札幌着、交流会)

■ テーマとグループ編成

- **全体テーマ** : 洞爺湖周辺地域の地域資源を用いた体験型プログラムの提案
- **グループ編成** : 計3グループ(5大学混成で各グループ18-19名)
- **サブテーマ** : グループ別にサブテーマを設定する

グループA [サイトシーイング型]

旅行代理店が提案する洞爺湖周辺地域の観光プログラムを体験し(19-20日)その内容を評価するとともに、フィールドサーベイ・グループディスカッションを通して改善案を提案する。

グループB [ツーリズム型]

壮瞥町商工会の協力により企画する洞爺湖周辺地域の体験型観光プログラムを体験し(19-20日)そのプログラムを評価するとともに、フィールドサーベイから新たな体験型観光の要素を探り体験型プログラムとして提案する。

グループC [アートプロジェクト型]

旧滝之上キャンプ場跡地(現・力岩観察公園)をフィールドに、その場の魅力をもっとも伝える場所づくりを行う。参加者は場所・環境の魅力を読み取り、用意された材料を用いて気持ちのいい空間を作りあげる。環境をリノベーションすることで、その魅力を最大限に引き出すプロジェクトとして提示する。

■ 成果報告会

日時: 9月23日(祝・土) 10:00~12:00

会場: そうべつ道の駅 情報館 i・2階研修室 および 旧滝之上キャンプ場跡地

公立大学法人 札幌市立大学 ACP 研究プロジェクトチーム

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目 Tel: 011-592-2300(代表)

【問合せ先】 ACP 事務局 Tel: 011-592-2574(直通) / 011-592-2300(代表) / e-mail: acp@scu.ac.jp